

2021年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月11日

上場会社名 フリービット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3843 URL <https://freebit.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO 兼 CTO (氏名) 石田 宏樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ経営企画本部長 (氏名) 和田 育子 TEL 03-5459-0522
 四半期報告書提出予定日 2020年12月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第2四半期の連結業績 (2020年5月1日~2020年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第2四半期	28,117	3.8	1,989	101.7	2,029	123.3	1,405	-
2020年4月期第2四半期	27,094	26.0	986	△2.6	908	23.7	△181	-

(注) 包括利益 2021年4月期第2四半期 2,250百万円 (-%) 2020年4月期第2四半期 137百万円 (△22.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第2四半期	64.27	64.23
2020年4月期第2四半期	△8.20	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第2四半期	36,655	11,810	23.9
2020年4月期	42,472	10,848	19.0

(参考) 自己資本 2021年4月期第2四半期 8,774百万円 2020年4月期 8,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	-	0.00	-	7.00	7.00
2021年4月期	-	0.00	-	-	-
2021年4月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無
現時点において2021年4月期の期末配当予想については未定であります。

3. 2021年4月期の連結業績予想 (2020年5月1日~2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	△6.0	2,400	△7.3	2,300	△7.3	750	-	34.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有
連結業績予想の修正については、本日 (2020年12月11日) 公表いたしました「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年4月期2Q	23,414,000株	2020年4月期	23,414,000株
② 期末自己株式数	2021年4月期2Q	2,470,169株	2020年4月期	1,470,123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年4月期2Q	21,862,099株	2020年4月期2Q	22,197,262株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算の概要説明の入手若しくは閲覧の方法）

- ・ 四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を行うとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。
- ・ 四半期決算の概要説明は、その記録動画を当社ウェブサイトに速やかに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

「経営成績に関する説明」において使用する名称の正式名称及びその説明は、下記のとおりであります。

使用名称	正式名称	説明
SNS	Social Networking Service	インターネットを利用して社会的ネットワークを構築可能にするサービスで、ソーシャルメディアの1つ
AMPU	Average Margin Per User	1ユーザーまたは1回線当たりの平均粗利
ヘルステック	Health Tech/Health Technology	“健康×IT”によりヘルスケア領域に変革を起こし、次世代の健康管理メソッドを創出していくもの
エドテック	EdTech /Education Technology	“教育×IT”により、語学教育領域に変革を起こし、ICTを活用して語学教育ソリューションを進化させていくもの
フリービットEPARKヘルスケア	株式会社フリービットEPARKヘルスケア (現株式会社くすりの窓口)	当第2四半期連結会計期間末に連結の範囲から除外
フォーメンバーズ	株式会社フォーメンバーズ	当第2四半期連結会計期間末に連結の範囲から除外
フルスピード	株式会社フルスピード	当社連結子会社
Rita	Rita株式会社	当社連結子会社
MVNO	Mobile Virtual Network Operator	仮想移動体通信事業者
SPES	Single-Pair Ethernet Service	ギガプライズが提供する設備投資縮小と短期間でのインターネット接続を可能とする集合住宅向けISPシステム
アドテクノロジー	Ad Technology	「テクノロジーを駆使した広告」の総称で主にインターネット広告における配信技術や広告流通の技術のこと
DSP	Demand Side Platform	広告主の広告効果最適化を目指すプラットフォーム
アフィリエイト	Affiliate Marketing	Webページ等の広告を経由して、広告主のサイトで会員登録や商品購入をした場合にリンク元の媒体運営者へ報酬が支払われる仕組み
アフィリエイトター	—	アフィリエイト広告で収入を得ている人の総称

当第2四半期連結累計期間は、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の全てにおいて前第2四半期連結累計期間を上回る結果となりました。その主な理由として、第1四半期に引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に伴うテレワーク需要が継続したことで、当社グループの通信インフラサービスの需要が増加したことが挙げられます。

当第2四半期連結累計期間における国内景気は、同感染症の影響により依然として厳しい状況下にあります。政府による各種政策等の効果により、このところ持ち直しの兆しがみられており、この傾向が続くことが期待されています。しかし、冬期における同感染症拡大の兆候が見られるなど未だ予断を許さない状況の中、引き続き国内外の動向や経済状況の変動等を注視する必要があるものと捉えております。

そのような環境の中、インフラテック関連市場においては、第1四半期に引き続き同感染症の影響によりテレワーク需要の高まりが続いていることに伴い、モバイル通信サービスをはじめ、クラウドサービスやセキュリティサービスにおける需要が拡大基調にあります。一方で、固定網ブロードバンド通信サービスにおいては、ネット動画やオンラインゲーム等のリッチコンテンツの利用増加及びSNSのようなアクセス頻度の高いサービスの利用拡大による通信トラフィックの増加に加え、テレワークやオンライン授業の利用拡大により、ネットワーク原価が上昇し、AMPUは低下傾向にあります。

不動産テック関連市場においては、同感染症拡大の影響に伴う自宅でのインターネット利用の需要の高まりを受け、集合住宅向けインターネット接続サービスの導入がより一層進む傾向にあります。

アドテック関連市場においては、広告市場全体が同感染症の影響を大きく受け、広告予算の削減等の厳しい状況にあり、インターネット広告市場においてもそれは例外ではなく、引き続き厳しい状況にあるといえます。

ヘルステック関連市場においては、同感染症の影響により、オンライン・電話診療等の新しいサービスの伸長が見込まれます。

エドテック関連市場においては、かねてより文部科学省が教育におけるICTの活用を推進していましたが、同感染症の影響により、オンライン学習に関連する市場の伸長が加速化することが想定されます。

以上の結果、売上高は28,117,535千円（前年同四半期比3.8%増）、営業利益は1,989,323千円（前年同四半期比101.7%増）、経常利益は2,029,391千円（前年同四半期比123.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、フリービットEPARKヘルスケアの株式売却益949,073千円、フォーメンバーズの株式売却益1,501,609千円等に伴う特別利益2,452,359千円、個人向けMVNO事業ののれんの減損300,939千円、フルスピードの連結子会社であるRitaののれん等の減損97,266千円、固定資産除売却損113,116千円及びフォーメンバーズへの貸付けに対する貸倒引当金繰入額1,496,914千円等による特別損失2,038,866千円により1,405,117千円（前年同四半期は181,925千円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① インフラテック事業

第1四半期に引き続き、同感染症拡大防止に伴う自宅学習やテレワークの普及により、宅内Wi-Fi環境を通じたオンライン授業や会議、ネット動画視聴、ゲーム等のリッチコンテンツやSNSの利用増加等により固定回線網サービスの原価率は引き続き高いものの、MVNO支援パッケージサービスをはじめとした通信インフラサービスの需要増により売上高及び利益が増加しました。

以上の結果、売上高は8,126,786千円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は590,951千円（前年同四半期比71.2%増）となりました。

② 不動産テック事業

同感染症の影響を最小限に抑えるべく、大手包括提携先との連携を強化し、既存物件への「SPES」の導入を中心に提供戸数拡大に注力した結果、集合住宅向けインターネット接続サービスは順調に拡大し、売上及び利益が伸長しました。

以上の結果、売上高は7,759,476千円（前年同四半期比18.2%増）、セグメント利益は1,010,819千円（前年同四半期比29.4%増）となりました。

③ アドテック事業

アドテクノロジー関連サービスであるDSP広告や動画広告市場向けの商材を中心としたインターネット広告サービスの提供に加え、インフルエンサー事業の拡大に注力しました。また、アフィリエイトサービスにおいては、アフィリエイトの利用満足度が極めて高いアフィリエイトプラットフォームの強みを活かした事業を展開するとともに、対応領域の拡大に努めました。しかし、同感染症拡大の影響を受け、店舗送客広告や旅行広告等の広告事業の売上及び利益が減少しました。

以上の結果、売上高は7,954,106千円（前年同四半期比9.5%減）、セグメント利益は320,287千円（前年同四半期比17.9%減）となりました。

④ ヘルステック事業

お薬手帳アプリ利用者や調剤薬局向けソリューションサービス利用事業者の獲得が順調に推移し、事業規模が大きく拡大しました。

以上の結果、売上高は2,550,596千円（前年同四半期比73.0%増）、セグメント利益は305,755千円（前年同四半期は281,806千円のセグメント損失）となりました。

⑤ エドテック事業

同感染症拡大の影響を大きく受け、講師派遣型語学研修授業や留学関連事業のサービス停止により大幅に収益が減少し、加えて、主力事業である書籍の収益も減少しました。

以上の結果、売上高は1,992,314千円（前年同四半期比27.0%減）、セグメント損失は240,835千円（前年同四半期は258,283千円のセグメント損失）となりました。

セグメント別売上高及びセグメント損益

(単位：千円)

区分	売上高	セグメント利益 又は損失 (△)
インフラテック事業	8,126,786	590,951
不動産テック事業	7,759,476	1,010,819
アドテック事業	7,954,106	320,287
ヘルステック事業	2,550,596	305,755
エドテック事業	1,992,314	△240,835
調整額	△265,745	2,344
合計	28,117,535	1,989,323

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は36,655,991千円となり、前連結会計年度末と比べて5,816,134千円減少しました。これは主として、フリービットEPARKヘルスケアを連結の範囲から除外したこと等も影響し、受取手形及び売掛金が1,662,030千円、未収入金が2,914,859千円及びのれんが1,340,682千円減少したことによるものです。

負債合計は24,845,434千円となり、前連結会計年度末と比べて6,778,104千円減少しました。これは主として、フリービットEPARKヘルスケアを連結の範囲から除外したこと等も影響し、未払金が2,698,536千円、社債が1,120,000千円、長期借入金が2,011,422千円及びリース債務（固定）が1,380,191千円減少したことによるものです。

純資産合計は、自己株式を取得したことにより974,181千円減少したものの、利益剰余金が1,251,510千円及びその他有価証券評価差額金が419,912千円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べて961,970千円増加の11,810,557千円となり、この結果、自己資本比率は23.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月19日公表の連結業績予想を売上高520億円、営業利益24億円、経常利益23億円、親会社株主に帰属する当期純利益7.5億円にそれぞれ修正することといたしました。

その詳細につきましては、本日（2020年12月11日）公表いたしました「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,720,604	17,562,296
受取手形及び売掛金	9,302,677	7,640,647
商品及び製品	749,875	725,078
仕掛品	144,580	130,051
原材料及び貯蔵品	568,273	975,685
未収入金	4,309,766	1,394,907
その他	2,513,446	1,360,196
貸倒引当金	△192,960	△157,122
流動資産合計	33,116,264	29,631,739
固定資産		
有形固定資産	2,725,393	2,792,859
無形固定資産		
のれん	1,539,662	198,979
ソフトウェア	712,817	490,170
その他	1,419,522	70,574
無形固定資産合計	3,672,002	759,724
投資その他の資産		
投資有価証券	1,496,278	2,222,316
破産更生債権等	249,014	1,697,982
差入保証金	748,034	663,112
その他	761,280	628,495
貸倒引当金	△296,142	△1,740,238
投資その他の資産合計	2,958,464	3,471,668
固定資産合計	9,355,861	7,024,252
資産合計	42,472,125	36,655,991
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	652,332	310,318
短期借入金	700,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	3,174,430	5,101,034
未払金	8,508,386	5,809,849
未払法人税等	602,232	777,920
引当金	550,957	392,833
その他	3,575,588	2,610,419
流動負債合計	17,763,927	15,402,375
固定負債		
社債	2,920,000	1,800,000
長期借入金	7,433,801	5,422,379
リース債務	3,083,786	1,703,594
役員退職慰労引当金	65,713	74,286
退職給付に係る負債	67,162	70,843
その他	289,147	371,955
固定負債合計	13,859,611	9,443,059
負債合計	31,623,538	24,845,434

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,514,185	4,514,185
資本剰余金	3,122,709	3,121,858
利益剰余金	1,340,613	2,592,124
自己株式	△917,053	△1,891,234
株主資本合計	8,060,454	8,336,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,320	431,232
為替換算調整勘定	7,712	6,810
その他の包括利益累計額合計	19,032	438,042
新株予約権	3,266	1,332
非支配株主持分	2,765,833	3,034,248
純資産合計	10,848,586	11,810,557
負債純資産合計	42,472,125	36,655,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
売上高	27,094,595	28,117,535
売上原価	19,269,240	19,198,050
売上総利益	7,825,354	8,919,484
販売費及び一般管理費	6,838,986	6,930,161
営業利益	986,368	1,989,323
営業外収益		
受取利息	566	296
受取配当金	8	231
持分法による投資利益	—	3,432
投資有価証券売却益	—	3,229
投資有価証券評価益	—	49,774
助成金収入	2,280	63,502
違約金収入	5,227	26,067
償却債権取立益	9,921	—
法人税等還付加算金	500	4,912
その他	21,778	17,235
営業外収益合計	40,282	168,681
営業外費用		
支払利息	81,717	86,298
持分法による投資損失	6,461	—
支払手数料	10,303	30,709
その他	19,293	11,605
営業外費用合計	117,775	128,613
経常利益	908,874	2,029,391
特別利益		
固定資産売却益	—	1,658
投資有価証券売却益	24,087	—
関係会社株式売却益	—	2,450,682
新株予約権戻入益	—	18
特別利益合計	24,087	2,452,359
特別損失		
減損損失	17,833	427,495
固定資産除売却損	1,566	113,116
投資有価証券売却損	—	78
投資有価証券評価損	7,908	—
事務所移転費用	—	1,262
貸倒引当金繰入額	—	1,496,914
契約移転負担費用	50,000	—
特別損失合計	77,307	2,038,866
税金等調整前四半期純利益	855,653	2,442,883
法人税、住民税及び事業税	703,096	729,835
法人税等調整額	21,194	△118,871
法人税等合計	724,290	610,964
四半期純利益	131,362	1,831,919
非支配株主に帰属する四半期純利益	313,288	426,801
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△181,925	1,405,117

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	131,362	1,831,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138	419,919
為替換算調整勘定	5,707	△1,569
その他の包括利益合計	5,845	418,350
四半期包括利益	137,208	2,250,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△178,537	1,824,127
非支配株主に係る四半期包括利益	315,746	426,141

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	855,653	2,442,883
減価償却費	991,957	819,805
減損損失	17,833	427,495
のれん償却額	421,450	231,294
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△76,290	1,520,399
受取利息及び受取配当金	△574	△528
支払利息	81,717	86,298
為替差損益 (△は益)	302	△3,062
持分法による投資損益 (△は益)	6,461	△3,432
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△2,450,682
固定資産除売却損益 (△は益)	1,566	111,458
たな卸資産の増減額 (△は増加)	33,661	△427,613
仕入債務の増減額 (△は減少)	△124,779	△314,208
未収入金の増減額 (△は増加)	△243,093	△8,510,053
未払金の増減額 (△は減少)	△829,317	11,137,573
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	627,535	554,904
その他	△136,495	163,494
小計	1,627,589	5,786,026
利息及び配当金の受取額	1,210	812
利息の支払額	△66,320	△65,136
法人税等の支払額	△1,239,012	△730,770
法人税等の還付額	208,478	581,394
営業活動によるキャッシュ・フロー	531,945	5,572,326
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△63,432	△259,038
無形固定資産の取得による支出	△438,428	△480,634
投資有価証券の取得による支出	△176,782	△220,149
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	602,798
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△1,288,271
その他	△77,070	14,893
投資活動によるキャッシュ・フロー	△755,714	△1,630,401
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	91,000	△200,000
長期借入れによる収入	1,400,000	1,230,000
長期借入金の返済による支出	△1,185,650	△1,306,818
社債の償還による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△17,787	△979,375
配当金の支払額	△155,574	△152,698
リース債務の返済による支出	△449,329	△519,525
その他	△70,524	△72,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△487,866	△2,101,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△778	1,151
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△712,414	1,841,691
現金及び現金同等物の期首残高	15,458,703	15,718,804
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,746,289	17,560,496

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年10月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が974,132千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,891,234千円となっております。なお、上記のうち780,000株（取得価額751,920千円）については、当社の前代表取締役である田中伸明氏からの自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付けであります。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書に追加情報として記載した新型コロナウイルス感染症の影響について、同感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありませんが、アドテク事業の一部の事業については、同感染症の影響が当初の予想よりも長期にわたるものと仮定を変更しております。

また、前連結会計年度の有価証券報告書において記載していた同感染症の影響を受けている事業の一部については、事業分離（子会社株式の譲渡）により、今後は連結の範囲から除外となります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年5月1日 至 2019年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	インフラテック事業	不動産テック事業	アドテク事業	ヘルステック事業	エドテック事業
売上高					
外部顧客への売上高	7,729,679	6,514,236	8,648,086	1,474,268	2,728,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68,385	51,157	145,716	18	1,548
計	7,798,064	6,565,393	8,793,803	1,474,287	2,729,873
セグメント利益又は損失(△)	345,236	780,887	390,025	△281,806	△258,283

(単位：千円)

	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高			
外部顧客への売上高	27,094,595	—	27,094,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高	266,825	△266,825	—
計	27,361,421	△266,825	27,094,595
セグメント利益又は損失(△)	976,059	10,308	986,368

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額10,308千円には、貸倒引当金の組替額等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年5月1日至2020年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	インフラテック 事業	不動産テック 事業	アドテック事業	ヘルステック 事業	エドテック事業
売上高					
外部顧客への売上高	8,063,652	7,700,071	7,813,349	2,550,594	1,989,867
セグメント間の内部売上高 又は振替高	63,134	59,405	140,757	2	2,446
計	8,126,786	7,759,476	7,954,106	2,550,596	1,992,314
セグメント利益又は損失(△)	590,951	1,010,819	320,287	305,755	△240,835

(単位:千円)

	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高			
外部顧客への売上高	28,117,535	—	28,117,535
セグメント間の内部売上高 又は振替高	265,745	△265,745	—
計	28,383,280	△265,745	28,117,535
セグメント利益又は損失(△)	1,986,978	2,344	1,989,323

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,344千円には、貸倒引当金の組替額等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

インフラテック事業において300,939千円、アドテック事業において126,556千円の減損損失を計上しております。これらを含め当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において427,495千円であります。